

# 所有者の早期決断が空き家を救う

NPO法人  
ふるさと福井サポートセンター

# みなさんにお伝えしたいこと

空き家対策には

- 川上対策が必要
- 所有者早期決断の仕組み  
(NPOが学ぶ場) が必要

空き家はあるけど

空き家はない

空き家はたくさんあるけど

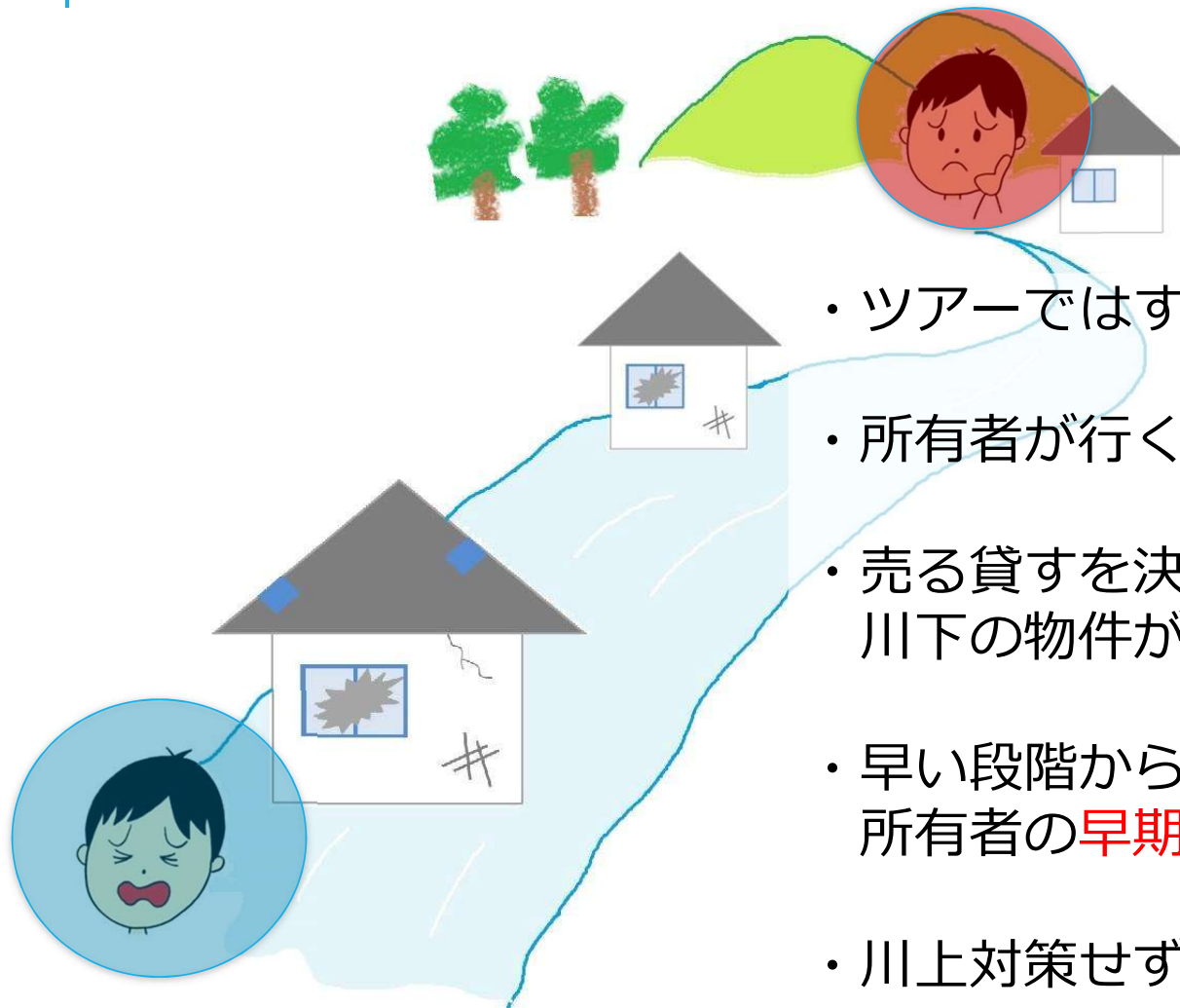
すぐに使える空き家

流通に出てくる空き家が  
少ないという現実

# 「空き家マッチングツアー」



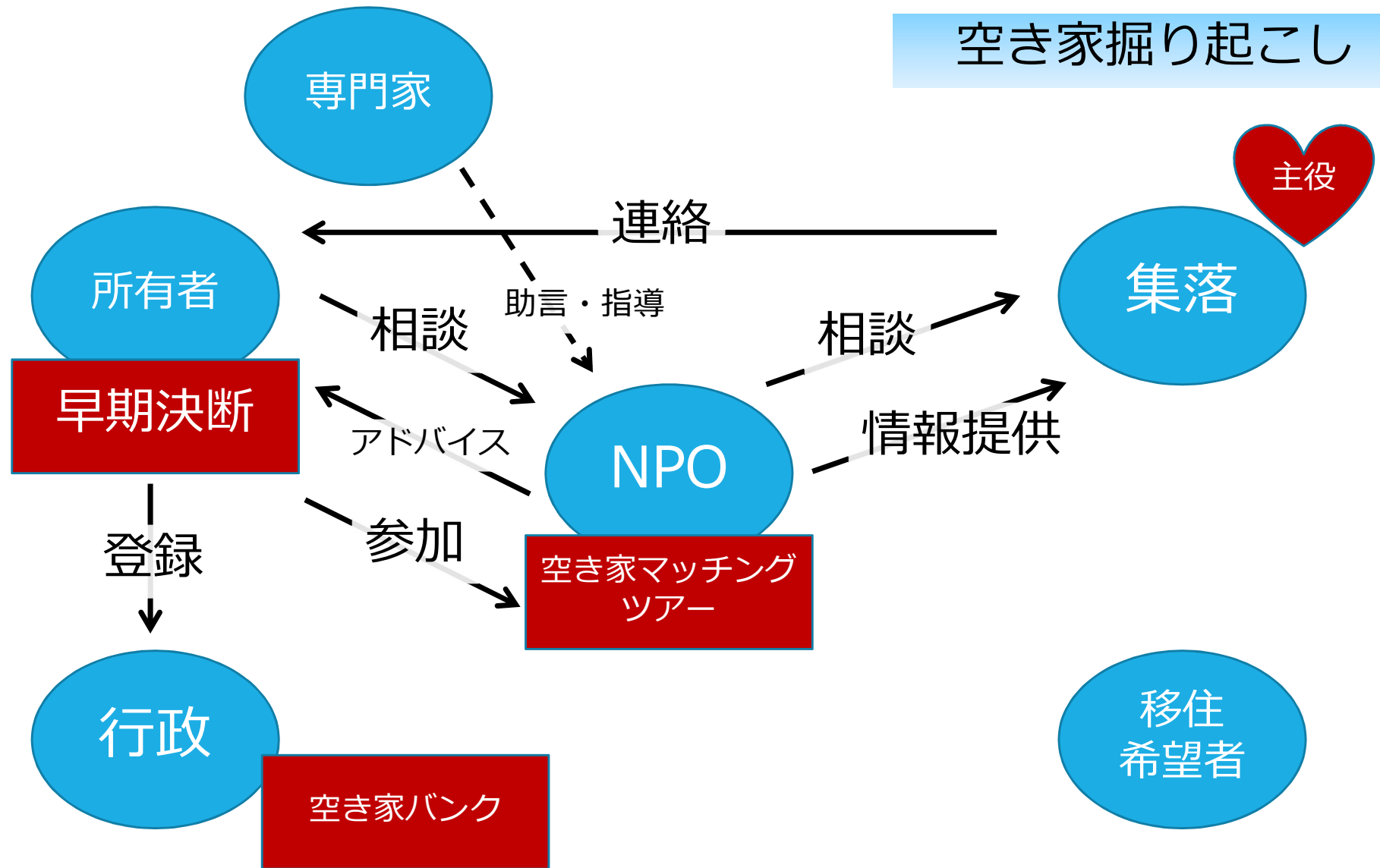
## 空き家川上対策が必要



- ツアーではすぐ住める家はほとんど出てこない
- 所有者が行く未を決められない
- 売る貸すを決めるタイミングが遅く古い物件  
川下の物件がほとんど
- 早い段階から流通に出す  
所有者の**早期決断**を促す仕組み川上対策が必要
- 川上対策せずに未来を迎えると（空き家予備軍）

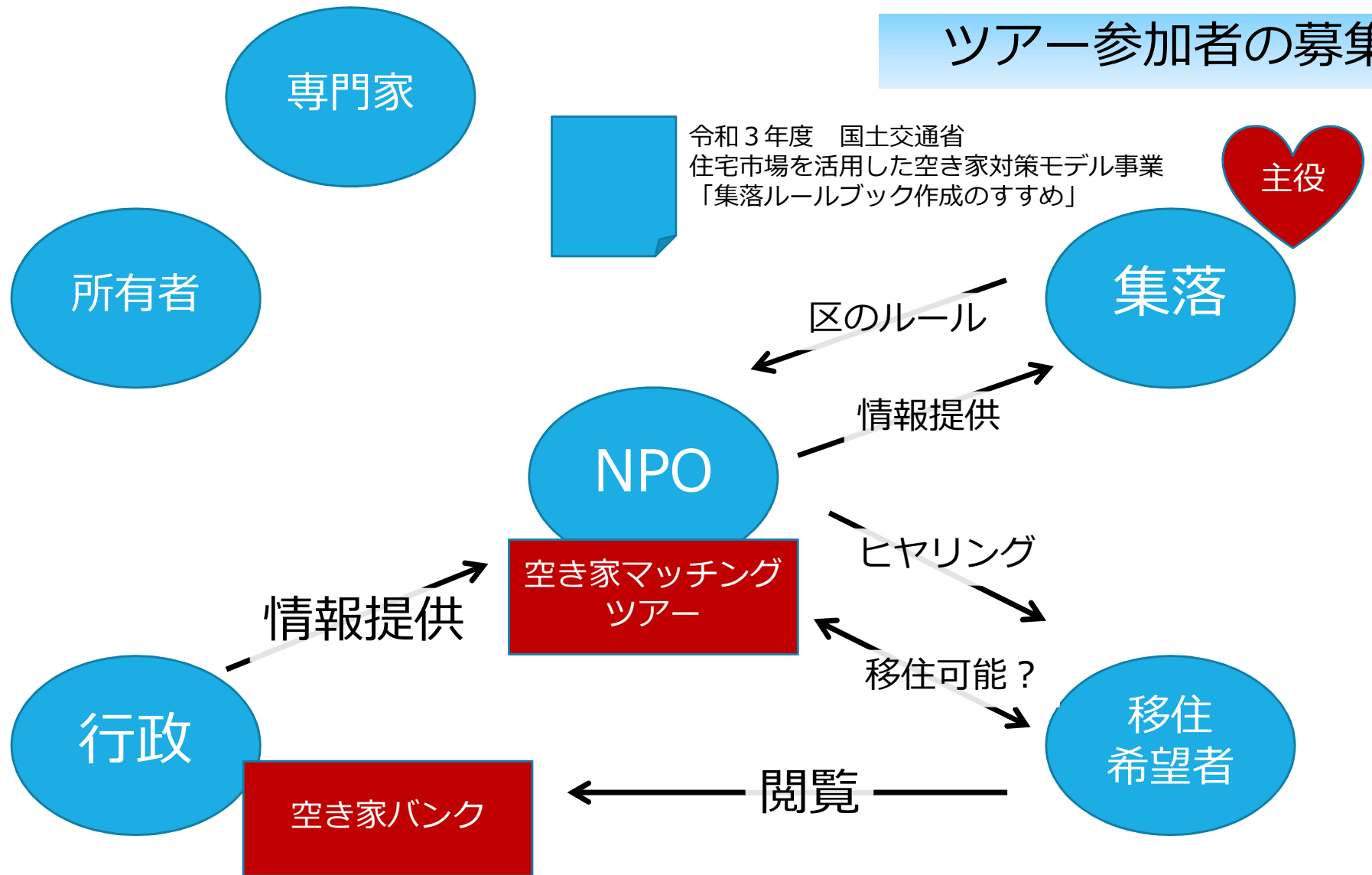


# 空き家掘り起こし

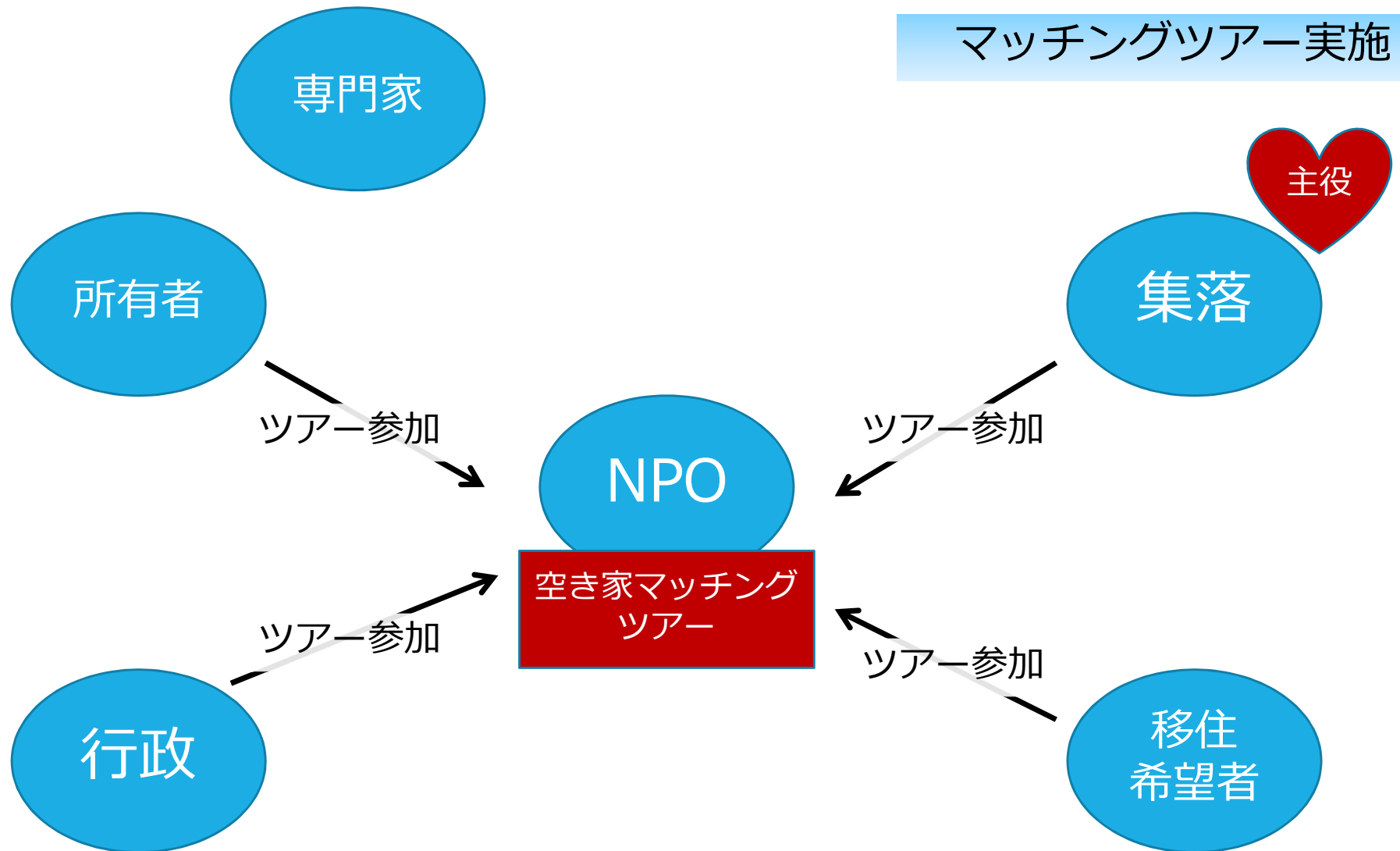




# ツアー参加者の募集



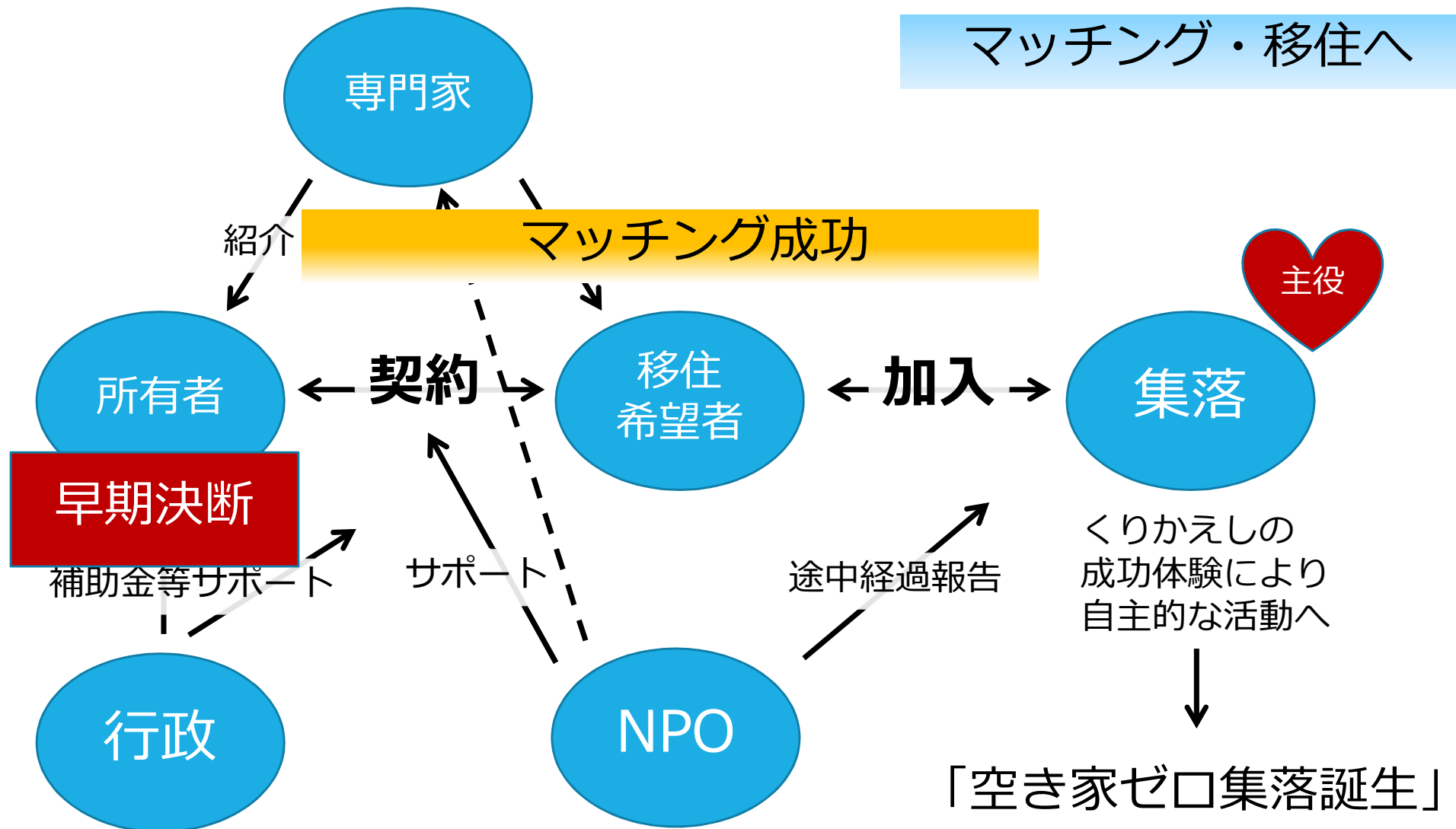
## マッチングツアー実施



# 「空き家マッチングツアー」



# マッチング・移住へ



全国にふるさぽモデルを  
NPOのスキルアップが必須

専門家

所有者

マッチングスキル向上  
スキルを学ぶ場が必要

集落

主役

資格や制度、充て職ではない  
地元の人を育てる仕組みづくり

行政

NPO



令和4年度より  
高知県6市町村  
モデル事業展開中

空き家対策には

- 川上対策が必要
- 所有者早期決断の仕組み  
(NPOが学ぶ場) が必要

# 空き家ゼロ集落が誕生しました

福井新聞  
2021年7月5日掲載

美浜町を中心に空き家対策に取り組むNPO法人「ふるさと福井サポートセンター（ふるさぽ）」が2011年の発足から10周年を迎えた。空き家所有者と移住希望者を結ぶマッチングツアーなどを定期的に開催し、6月下旬に空き家ゼロの集落ができるなど成果を上げている。さらなる空き家減と移住者定住に向け、本年度から町と連携し集落主体の空き家対策事業に取り組む考えだ。（北川龍次）

## 美浜 空き家0 着々

ふるさぽはこれまで62件のマッチングし、多い年は9件の契約に結びつけた。北山大志郎理事長（右）は当初、移住希望者と空き家所有者のみで話を進めてきたが「集落が置き去りになると移住者との間に溝ができていた。早めに区

のすべくに集落に合わせた人がとても温かく良いところ」と、喜らしを漏している。

ふるさぽはこれまで62件のマッチングし、多い年は9件の契約に結びつけた。北山大志郎理事長（右）は当初、移住希望者と空き家所有者のみで話を進めてきたが「集落が置き去りになると移住者との間に溝ができていた。早めに区

最後の空き家に新たな住者が決まった」とを伝える大塩区長（左）と空き家所有者中矢、ふるさぽメンバー。6月22日、美浜町佐野

長に会うと定住にもつながりやすい」と効果を実感する。

■モデルケース  
佐野の大塩友之区長（63）によると、ふるさぽが介入せず集落のみで空き家を解消することもあったという。

空き家が出始めた約10年前、区の総会で課題を共有した。「集落みんなで対応しよう」。空き家を購入し賃貸物件にするなど早期に活用。その後は住民が知らずに声をかけ、移住者を探したという。一区民旅行が半世紀以上続くなど住民同士は仲が良い。お互いに連携できる下地は整っていた」と話す。

「集落が主体になれば、空き家がなくても対処できる。佐野をモデルケースに普及すれば着実に空き家は減るはずだ」と確信した。

■身近な一歩  
この集落も空き家解消に取り組むたいが「離れて暮らす所有者の連絡先が分からない」「空き家は壊すのかわるか気を使って聞けない」「なにかの障壁がある」といって、ふるさぽは佐野の例を参考に、早い段階で移住希望者、空き家所有者、集落を引寄せ橋渡ししの役割を担う「空き家ゼロ宣言チャレン」集落サポート事業」を始めた。

町の「集落元気ツアー」を基に空き家問題を解消したいという集落にアプローチ。ふるさぽが管理する空き家の情報などを提供し3者を引き合わせる。現在、37集落のうち空き家対策への関心が高い集落で事業が進んでいるという。

北山理事長は「コロナ禍でテレワークやアウトドアアクティビティが盛んになり、移住希望者が増える可能性は高い」と強調する。「今のうちに積極的に集落の受け入れ態勢を整える必要がある。空き家対策が地域を盛り上げる身近な一歩になるはず」と意気込んだ。

ふるさぽ発足10年  
移住者マッチング62件

町と連携 橋渡しし 集落主体へ

フォローアップ

ふるさぽ発足10年  
移住者マッチング62件

町と連携 橋渡しし 集落主体へ

ふるさぽ発足10年  
移住者マッチング62件

町と連携 橋渡しし 集落主体へ

■地元ケーブルテレビで放送されました



URL <https://bit.ly/3WAueeq>

NPO法人ふるさと福井サポートセンター

## 高知県 6 市町村 モデル事業展開中



■NHK高知放送局

こうち34の未来より

「移住者の住める家が足りない」

2022年9月30日放送

URL <https://bit.ly/3EHuv90>



■高知さんさんテレビ

「空き家早期決断」

2022年7月19日放送

URL <https://bit.ly/3NLT1s8>



# 私たち現場からの声

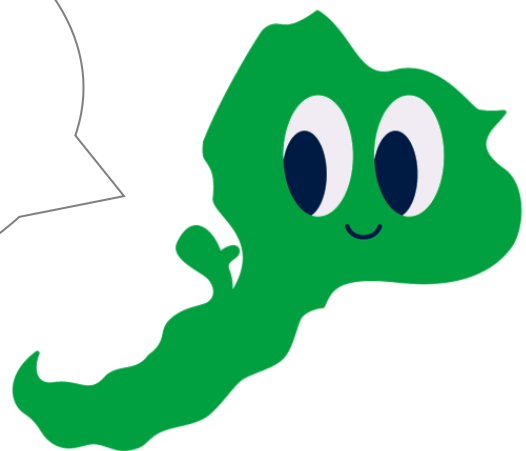
## ・川上対策が必要

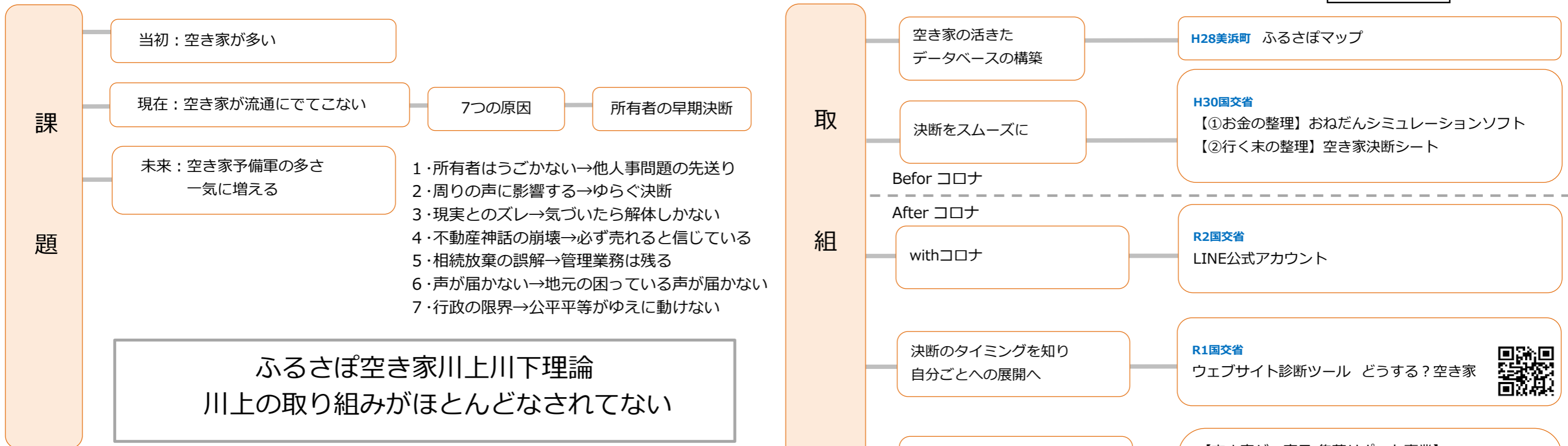
地域の活動主体となる行政と民間団体（NPO 等）に  
活動運営資金となる補助支援

## ・所有者早期決断の仕組み（NPO が学ぶ場）が必要

人材育成のためのプログラム開発費と  
学ぶための場づくりの為の補助支援

ふるさぽが取り組んできた  
川上対策のノウハウを  
ご活用ください





※3つのマッチングとは・・・

- ①希望者と「空き家」のマッチング
- ②希望者と「所有者」のマッチング
- ③希望者と「地元・地域」のマッチング

**ふるさぼのマッチング活動の特徴**

- 1) 3つのマッチング
- 2) 解体工事がきっかけ
- 3) 美浜町の課題
- 4) 実施体制 行政との協業
- 5) ノウハウを全国に

NPO法人ふるさと福井サポートセンターの活動  
**「所有者の早期決断が空き家を救う」**

**運営**

**【寄付金】** 認定NPOへ

**【補助金等】**

- ・空き家マッチングツアー
- ・黄舎運営
- ・クリエイターインレジデンス (事業：H30.6月～R2.3月)
- ・創絆集 造 応援隊 (事業：H28.5月～R2.3月)

**ノウハウを全国に広げる為の【コンサルタントとシステム開発販売】**

- ・ふるさぼマップ
- ・おねだんシミュレーション
- ・早期決断シート
- ・オンラインサロン「空き家ラボ」
- ・空き家予防伝導師講座
- ・空き家対策forLINE
- ・空き家確保のための 移住サポータースキルアップ講座 (オンライン)

**【ローカルストーリー】**

- ①じょんカフェ
- ②みんなの食堂
- ③高齢者サロン山野草
- ④小学生の空き家カフェ
- ⑤ほっとミーティング
- ⑥そうじイベント開催
- ⑦ADDRESS
- ⑧多拠点活動
- ⑨社会福祉協議会の自主的勉強会の実施
- ⑩佐野区空き家ゼロ
- ⑪空き家予防365高校生ナレーション参加
- ⑫高校生探求SDGs 取組空き家をテーマに
- ⑬地元町民による自主的マッチング活動へ

**成果 (地域が動く仕組みづくりが形に)**

- ・集落の自主的活動
- ・空き家バンク登録増加
- ・空き家相談件数の増加

⇒ 空き家確保 移住者の受入れ体制を整える まちづくり本番へ

⇒ 全国へノウハウが広がる 高知県空き家のミライ (高知県版 空き家決断シート等)